

札幌西・手稲健康友の会ニュース

ていねやま

発行所
札幌西・手稲健康友の会
札幌市西区西町北19丁目西区病院内
直通666-2877 (FAX兼用)
発行責任者 坂野 悠紀子
友の会員数 12,451人 (1月22日現在)

友の会新春交流会を開催 ～地域包括ケアの具体化へ～

地域・友の会にとっても大きな力に

1月17日、札幌市手稲記念館にて「友の会新春交流会」が行われ、92人が参加しました。札幌西・手稲健康友の会の高際 男会長は、「新クリニクの完成は、地域・友の会にとっても大きな力になる」と挨拶しました。

北海道勤労者医療協会理事を代表して、西区病院の吉田真事務長は、「新クリニクでは、地域包括ケア時代の中で、日頃の健康管理・専門医療・入院そして介護を繋ぐ役割を果たして行きたい」と報告しました。

勤医協札幌西社員支部の田中啓介副支部長は、20年前の阪神・淡路大震災に触れて、皆さんの声で政治を動かすことで被災者生活再建支援法を設立できたことを紹介しました。

来賓の中の川町内会の若嶋治会長は、「ともに元気で笑いの絶えない1年でありましよう」と述べられました。

乾杯では、勤医協西在宅総合センターの峯田あけみセンター長が「みんな安心して住み続けられるまちづくりの運動を大きくしましょう」と話しました。

「勤医協西区ひだまりクリニック」の発表

歓談後、勤医協札幌西区病院の近接診療所準備室の宮本 康弘課長が、スライドを使い新クリニクの説明を行いました。クリニック名は、「ぬくもりと安らぎ



新クリニクの機能を紹介



妖怪ウオッチ体操を披露



フラダンスサークル



西区病院の医局コーラス



遠藤歯科医師ピアノ演奏

ひまわり薬局・曙在宅センター・新発寒在宅センター・にしく歯科のスピーチと続き、横山博子社員支部長が、「地域包括ケア時代の中で、友の会も地域包括ケアの具体化が必要」と閉会挨拶しました。

友の会も地域包括ケアの具体化が必要

を求め患者さんが集まってくれるようなクリニックにしたい」という思いから「勤医協西区ひだまりクリニック」としたことを発表しました。

余興では、友の会のフラダンスサークルが踊りを披露。勤医協にしく歯科診療所の遠藤高弘歯科医師のピアノ演奏に聞き入りしました。遠藤医師の曲の紹介の中で、「戦争をしない条項を盛り込んだ憲法は日本だけではない」と紹介され、改めて平和の重要性について考えることが大切と参加者もうなづいていました。西区病院院長室の元気になる妖怪ウオッチ体操。西区病院医局コーラス「上を向いて歩こう」「戦争を知らない子供たち」アンコールの「なごり雪」で会場が一つになりました。

いつも、あなたのかかりつけ医に

～勤医協西区ひだまりクリニック（4月開院予定）～

道内や西区周辺地域では高齢化率が増加しており、認知症や高齢者の一人暮らしも増えていくことが予想されます。医療・介護連携の重要性が増していく中「住み慣れた家や地域で最期まで暮らしたい」という思いに寄り添うことのできるクリニックを目指し、地域の皆さんの思いを健康面からかかりつけ医としてサポートしていきたいと思ひます。

かかりつけ医とは？：あなたや家族が、元気で安心して暮らすために、気軽に相談して健康を守る手助けをしてくれる身近な医療機関のことです。



第21回 札幌西 手稲健康友の会総会

とき：3月14日（土）

13:30～15:30

ところ：勤医協札幌西区病院 3階会議室
友の会事務局（666-2877）

札幌西・手稲健康友の会の1年間の活動の振り返りと友の会役員を決定し、新たな年を展望する総会を行います。



医療費で困った時、相談を！

勤医協は、「経済的理由で医療費の支払いが困難な方」を対象に「無料・低額診療制度」を実施。「就学援助」を受けている世帯もご相談下さい。

勤医協札幌西区病院

(代表) 663-5711へ

勤医協札幌にしく歯科診療所

(代表) 666-6222へ



ご住所・お電話番号などを変更された方は、お手数でも札幌西・手稲健康友の会の事務局(011) 666-2877へご連絡をお願いします。友の会新聞などの登録の変更をいたします。



介護の不安を増大！

入所待機者52万人

1月11日に安倍政権は、「介護報酬」の2・27%引下げを決めました。

「介護報酬」の引下げは、特別養護老人ホームだけをみても3割は赤字経営であり、利用者サービスの低下や介護で働く職員不足に深刻な影響を与えます。

特別養護老人ホームは、入所待機者52万人を超え、看護師・介護福祉士などのなり手も少ない状況です。

2025年問題を迎える「介護報酬」は、2000年の制度スタート以来、引下げの基調で推移。介護職員の給与は、この

間の「介護報酬」の引下げにより、他産業と比較しても約10万円も低く労働条件の悪化も懸念されています。

2025年問題を迎える時には、厚生労働省の調査で、30万人の介護職員が足りないと思われる状況です。

医療・介護危機

2025年問題では、団塊の世代が75歳以上になり、認知症・一人暮らし・低年金の問題を併せた高齢者が増えると言われてます。介護だけでなく医療も現状よりも削減する現政権のやり方は、より一層「医療・介護危機」を増し、地域再生どころか雇用を生み出せずに地域崩壊の危険増となります。



<綿100%布の協力のお願い>

入院患者さん・施設入所の利用者さんの排泄介助の際に使用する、清拭用の布を集めています。

タオル・シーツ・Tシャツで洗濯済みの清潔な布を受付や友の会室にお願いします。(古着は、ご遠慮下さい。)

受取に伺うことも可能です。友の会事務局(011) 666-2877



MIN-IREN 2015年2月号 380円

いつでも元気 2015年2月号 380円

水俣病は終わっていない

戦地で出会った「慰安婦」

睡眠時無呼吸症候群

「いつでも元気」の購読料は、1ヵ月380円です。お問合せは、友の会事務局(011) 666-2877へご連絡下さい。

「いつでも元気」の購読料は、1ヵ月380円です。お問合せは、友の会事務局(011) 666-2877へご連絡下さい。



絶え間なく訪れる相談者

12月12日、西区区民センターでOSネット西区相談会実行委員会が主催する「第10回相談会」が行われて20人が参加し、友の会も「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」の取組みの一環として参加。相談会には、弁護士・司法書士・看護師・医療ソーシャルワーカー・不動産関係者などの相談員が集まり、16件の相談が寄せられました。高齢化社会の反映から年金・介護問題に関わる内容が比較的多く「受取る年金が、少なくこのままでは生活していけない。仕事も年齢的にない」(70代男性)「父親がアルツハイマー型認知症となり、徘徊を始めようになった。介護保険サービスの利用について教えて欲しい」(40代女性)などが寄せられ解決に向けて相談員が共に協力していました。今回の第11回相談会は、6月頃に開催する予定です。

数々のOSネットが寄せられ...

今月の行事予定

【友の会室】

ふれあい喫茶 会費100円

2月2日、16日(月) 14時

ちぎり絵 会費300円

2月3日(火) 14時

絵手紙 体験料500円

2月6日、20日(金)

12時半

綿ぼうしの会

2月26日(木)

★車イス清掃・布切り

12時半

布切り

毎週水曜日 13時

2月5日、19日(木) 13時

囲碁

【西区病院3階大会議室】

ふまねっと

2月4日、18日(水) 10時

会費 一回 100円

フラダンス

2月18日(水) 14時

(3F小会議室)

25日(水) 13時半

(3F小会議室)

会費1,500円

【新発寒在宅たんねの里】

布切り(たんねの里)

2月12日(木) 13時半

ふれあい喫茶(たんねの里)

2月19日(木) 13時半

会費100円

【今月のお食事会】

*あけぼのふれあいお食事会

2月13日(金) 11時

手稲曙在宅センター

*西区いきいきお食事会

2月21日(土) 11時

(一人暮らしの70歳以上の方)

三浦クリニク

お申込みは事務局

(666-2877)へ